

# 東京都建設工事 競争入札資格 「仕組み」と「手続き」 【解説セミナー】



行政書士法人スマートサイド

代表行政書士 横内 賢郎

## 東京都行政書士会 文京支部 行政書士法人スマートサイド

代表行政書士 横内 賢郎 (よこうち けんろう)



- 2014年行政書士登録
- おもな専門業務は、建設業許可や入札参加資格申請
- 建設業許可、入札、経審に関する書籍を複数出版



<https://www.amazon.co.jp/-/e/B0B48WTWS6>

- ☑ 東京都の入札（公共工事）が、うまく行っている会社とうまく行っていない会社の違いとは？
- ☑ 安定して落札できている会社と、数年であきらめて、やらなくなってしまう会社の違いとは？



「仕組み」を理解するとともに「手続き」を実践することによって初めて効率的に公共工事を受注することができる！

## 1 東京都の入札資格（公共工事）の仕組み

- (1) 実際の発注案件
- (2) 等級と発注標準金額
- (3) 等級はどうやって決まるか？
- (4) 客観点数 = 総合評定値（P点）
- (5) 主観点数 = 過去最高完成工事経歴
- (6) （株）スマートサイド建設の場合
- (7) 横内電気工業（株）の場合
- (8) シミュレーション

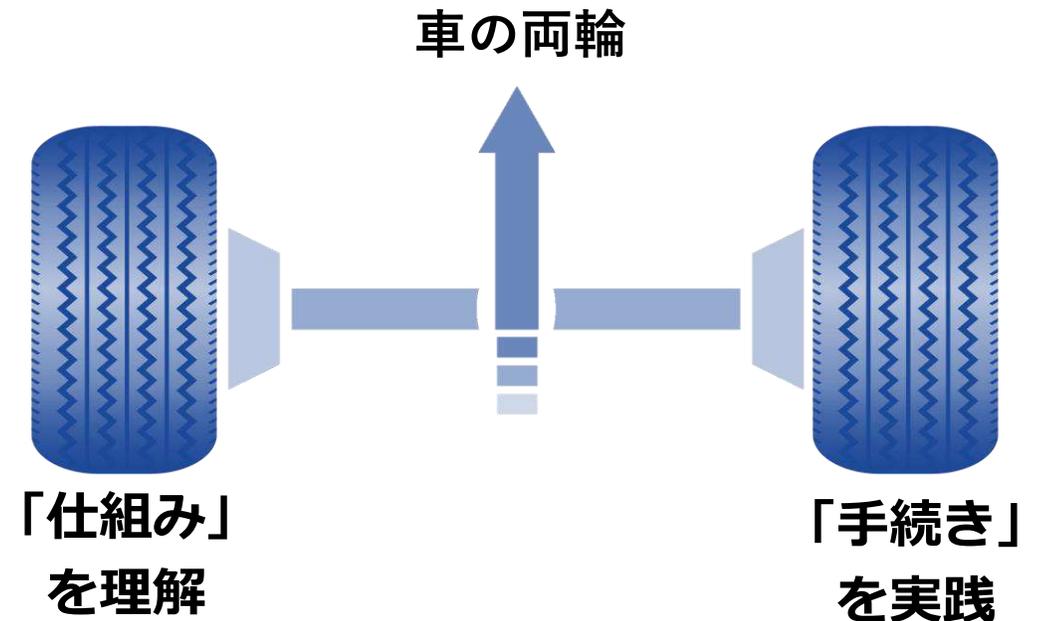
## 2 東京都の公共工事の入札に参加するまでの手続き

- (1) 決算報告（決算変更届の提出）
- (2) 経営状況分析
- (3) 経営事項審査
- (4) 東京都への入札参加資格申請
- (5) 受付票と結果通知書
- (6) 手続きのまとめ

## 3 東京都入札の他社事例のご紹介

- (1) 東京支店での入札事例
- (2) 完成工事高の振替事例
- (3) 都か？区か？選択事例

## 4 東京都の入札に参加したいとお考えの方へ



まずは  
東京都の入札資格（公共工事）の  
「仕組み」を  
見ていくことにしましょう。



# 1 (1) 実際の発注案件

## 【案件検索の仕方】



東京都電子調達システム

↓  
入札情報サービス

↓  
発注予定情報

↓  
発注予定 案件検索

参考資料：発注事例 1 / 発注事例 2

# 1 (1) 実際の発注案件

## 【発注事例(1)：2億5,200万円】

業種「0700 建築工事」の  
等級A、BまたはCのいずれかに登録があり、  
かつ建設業法第3条に基づく特定建設業の  
許可を受けていること。

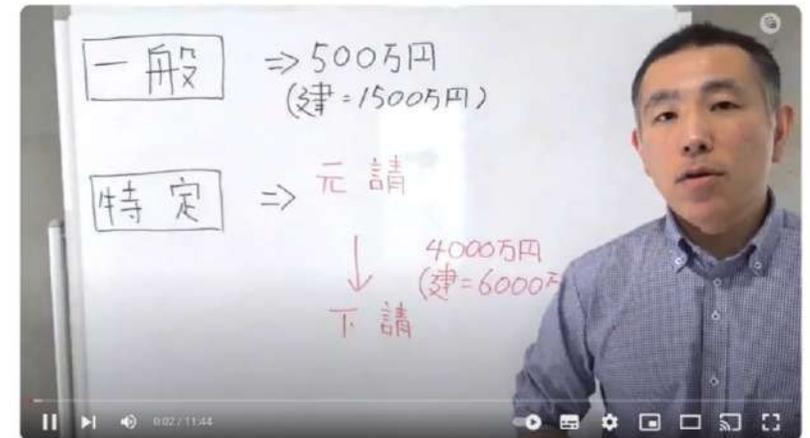
## 【発注事例(2)：4,700万円】

東京都建設工事等競争入札参加資格を有し、  
業種0700「建築工事」の  
「D」の等級に格付けされていること。

※特定建設業許可については、  
こちらの動画を参考にしてください。

【特定建設業許可の要件・取得方法について】

[https://www.youtube.com/watch?v=GqL9\\_N9z07g](https://www.youtube.com/watch?v=GqL9_N9z07g)



# 1 (1) 実際の発注案件

率直な疑問 …

「等級」

「A・B・C」

「格付け」



これって、何でしょうか？

# 1 (2) 等級と発注標準金額

**等級 = 東京都の公共工事の入札参加資格を取得すると付与されるランク**

業種番号および業種名	等級区分及び順位
01：道路舗装工事 02：橋りょう工事 03：河川工事 04：水道施設工事 05：下水道施設工事 06：一般土木工事 07：建築工事	A B C D Eの5等級
08：電気工事 09：給排水衛生工事 10：空調工事	A B C Dの4等級
上記以外の業種	等級を定めず、順位のみ

※業種は、全部で109種類あり

# 1 (2) 等級と発注標準金額

入札参加資格を取得すると、  
皆さんの会社の情報も東京都のウェブページ上に公表されます。

申請局	受付番号	企業規模 (工事/委託)	商号又は名称	都と契約する営業所所在地 本店所在地	代表者	等級順位:業種
財交水下						B1-0:道路舗装工事 A17-0:橋りょう工事 A17-50:河川工事 A14-0:水道施設工事 A17-0:下水道施設工事 A21-0:一般土木工事 A39-0:建築工事

「東京都電子調達システム > 入札情報サービス > 競争入札参加資格者名簿」から

検索した中堅ゼネコンの実際の有資格者名簿

※どなたでも自由に検索することができます※

実は…

各業種の等級ごとに、入札に参加することができる  
**大まかな工事の金額が、あらかじめ決まっています！**

**➡ 業種・等級ごとに「グループわけ」されています。**

自分の会社が

- ・ **〇〇工事の**
- ・ **〇等級**

であるということが事前に分かれば  
ある程度の範囲で1件当たりの受注金額を予測できる！

# 1 (2) 等級と発注標準金額

## 【東京都入札参加資格申請の手引】

どの工事（業種）で、何等級を取得すると、  
どれくらいの規模感（金額）の公共工事の入札に  
参加できるのか、あらかじめ公表されています

（参考資料3参照）

### （建築工事）

等級	発注標準金額	
A	4億4千万円以上	
B	2億2千万円以上	4億4千万円未満
C	6千万円以上	2億2千万円未満
D	1千6百万円以上	6千万円未満
E	1千6百万円未満	

### （電気工事・空調工事）

等級	発注標準金額	
A	5千5百万円以上	
B	1千8百万円以上	5千5百万円未満
C	6百万円以上	1千8百万円未満
D	6百万円未満	

### （道路舗装工事）

等級	発注標準金額	
A	2億円以上	
B	8千万円以上	2億円未満
C	3千万円以上	8千万円未満
D	7百万円以上	3千万円未満
E	7百万円未満	

# 1 (2) 等級と発注標準金額

東京都の入札参加資格を取得した際に  
自分の会社の「等級」がどうやって決まるか？

「等級」が  
どうやって決まるか？

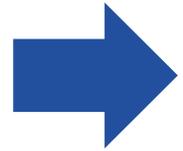
気になりませんか？  
知りたくないですか？

これが分かれば、  
「どれくらいの金額の  
公共工事を落札できる  
可能性があるのか？」  
検討がつく。

より大きい工事の  
入札に参加するには  
何が必要かの対策を  
立てることができる！

# 1 (3) 等級はどうやって決まるのか

- 客観点数から導き出される客観等級
- 主観点数から導き出される主観等級



より「低い方の等級」が、御社の最終等級になります。



「なんのことか、さっぱりわからない」という声が聞こえてきそうなので、  
実際の等級算定表を見ながら、解説をさせていただきます。

# 1 (3) 等級はどうやって決まるのか 行政書士法人スマートサイド

## (建築工事の等級算定表)

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
900点以上	A	4.4億点以上	A
900点未満 750点以上	B	4.4億点未満 2.2億点以上	B
750点未満 650点以上	C	2.2億点未満 6000万点以上	C
650点未満 600点以上	D	6000万点未満 1600万点以上	D
600点未満	E	1600万点未満	E

## (電気工事の等級算定表)

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
750点以上	A	5500万点以上	A
750点未満 600点以上	B	5500万点未満 1800万点以上	B
600点未満 500点以上	C	1800万点未満 600万点以上	C
500点未満	D	600万点未満	D

東京都の公報に掲載されている「建築工事」と「電気工事」の等級算定表  
(※参考資料4参照)

# 1 (3) 等級はどうやって決まるのか 行政書士法人スマートサイド

## (一般土木工事の等級算定表)

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
900点以上	A	3.5億点以上	A
900点未満 750点以上	B	3.5億点未満 1.6億点以上	B
750点未満 650点以上	C	1.6億点未満 4000万点以上	C
650点未満 600点以上	D	4000万点未満 1000万点以上	D
600点未満	E	1000万点未満	E

## (道路舗装工事の等級算定表)

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
900点以上	A	2億点以上	A
900点未満 750点以上	B	2億点未満 8000万点以上	B
750点未満 650点以上	C	8000万点未満 3000万点以上	C
650点未満 600点以上	D	3000万点未満 700万点以上	D
600点未満	E	700万点未満	E

東京都の公報に掲載されている「一般土木工事」と「道路舗装工事」の等級算定表  
(※参考資料4参照)

# 1 (3) 等級はどうやって決まるのか



- ① 御社の客観点数から「客観等級」を導き出します。  
御社の主観点数から「主観等級」を導き出します。
- ② 客観点数から算出される「客観等級」と主観点数から算出される「主観等級」が同じであれば、その等級が御社の最終的な等級になります。
- ③ 「客観等級」と「主観等級」が異なる場合は、より低い等級が、御社の最終的な等級になります。

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
900点以上	A	4.4億点以上	A
900点未満 750点以上	B	4.4億点未満 2.2億点以上	B
750点未満 650点以上	C	2.2億点未満 6000万点以上	C
650点未満 600点以上	D	6000万点未満 1600万点以上	D
600点未満	E	1600万点未満	E

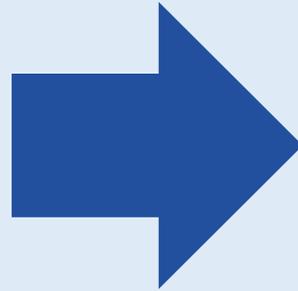
例：客観等級が「B」で、主観等級が「B」の場合、御社の最終的な等級は「B」  
客観等級が「B」でも、主観等級が「C」の場合、御社の最終的な等級は「C」

# 1 (3) 等級はどうやって決まるのか 行政書士法人スマートサイド

「客観点数」や「主観点数」がどのように算出されるか？  
気になりませんか？

これが分かれば、

客観点数を上げたり、  
主観点数を上げたりする  
ことによって、  
より上位の等級を取得する  
ことができる！



より規模の大きい  
公共工事の受注を  
目指すことができる！



# 1 (5) 主観点数 = 過去最高完成工事経歴 行政書士法人スマートサイド

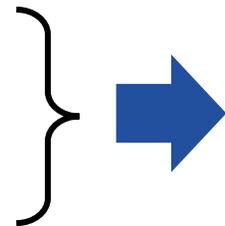
東京都に入札参加資格を申請する際に、入力が必要な【過去最高完成工事経歴】の請負金額（税込み）が「**主観点数**」になります。

すこし細かいので、ざっくり説明すると…

- 過去6年間の間に
- 東京都近郊で施工した工事
- 1件あたりの金額が1番大きい
- 工事の請負金額（税込み）

例：株式会社スマートサイド建設

- 2年前に
- 東京都内で
- 3600万円（税込み）の道路舗装工事を施工した



主観点数は、3600万点？

但し、**民間発注の場合は、2分の1の額**として計算されます。

**3600万円 × 1 / 2 = 1800万点**が「**主観点数**」 = **主観等級はD等級**

# 1 (6) (株) スマートサイド建設の場合



## ① (道路舗装工事の等級算定表)

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
900点以上	A	2億点以上	A
900点未満 750点以上	B	2億点未満 8000万点以上	B
750点未満 650点以上	C	8000万点未満 3000万点以上	C
650点未満 600点以上	D	3000万点未満 700万点以上	D
600点未満	E	700万点未満	E

② 客観等級が「E」で主観等級が「D」の場合、(株) スマートサイド建設の舗装工事の最終的な等級は「D」ではなく「E」。

③

等級	発注標準金額
A	2億円以上
B	8千万円以上 2億円未満
C	3千万円以上 8千万円未満
D	7百万円以上 3千万円未満
E	7百万円未満

④ 客観等級が「E」ではなく「D」だったら？  
すなわち、経審の結果（総合評定値P点）が、561点じゃなくて、せめて600点台だったら…

# 1 (6) (株) スマートサイド建設の場合



## ① (道路舗装工事の等級算定表)

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
900点以上	A	2億点以上	A
900点未満 750点以上	B	2億点未満 8000万点以上	B
750点未満 650点以上	C	8000万点未満 3000万点以上	C
650点未満 600点以上	D	3000万点未満 700万点以上	D
600点未満	E	700万点未満	E

② 客観等級が「E」で主観等級が「D」の場合、(株) スマートサイド建設の舗装工事の最終的な等級は「D」ではなく「E」。

③

等級	発注標準金額
A	2億円以上
B	8千万円以上 2億円未満
C	3千万円以上 8千万円未満
D	7百万円以上 3千万円未満
E	7百万円未満

④ 客観等級が「E」ではなく「D」だったら？  
すなわち、経審の結果（総合評定値P点）が、561点じゃなくて、せめて600点台だったら…

# 1 (7) 横内電気工業（株）の場合

## (電気工事の等級算定表)

### Q 客観等級について

横内電気工業（株）が、東京都の電気工事の入札に参加するために、経営事項審査を受けました。その結果、電気工事の総合評定値 P 点が、700点でした。

客観等級は「A～D」のうち、どれに該当しますか？

**A**

P 点が700点ということは、客観点数が600点以上750点未満に該当するため、客観等級は、「B」になります。

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
750点以上	A	5500万点以上	A
750点未満 600点以上	B	5500万点未満 1800万点以上	B
600点未満 500点以上	C	1800万点未満 600万点以上	C
500点未満	D	600万点未満	D

# 1 (7) 横内電気工業（株）の場合

## (電気工事の等級算定表)

### Q 主観等級について

横内電気工業（株）の過去最高完成工事経歴は、4200万円（民間工事）でした。

この場合の、主観等級は「A～D」のうち、どれに該当しますか？

**A**

過去完成工事経歴は4200万円（民間工事）のため、主観点数は1/2の2100万点となり、主観等級は「B」等級です。

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
750点以上	A	5500万点以上	A
750点未満 600点以上	B	5500万点未満 1800万点以上	B
600点未満 500点以上	C	1800万点未満 600万点以上	C
500点未満	D	600万点未満	D

# 1 (7) 横内電気工業（株）の場合

## (電気工事の等級算定表)

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
750点以上	A	5500万点以上	A
750点未満 600点以上	B	5500万点未満 1800万点以上	B
600点未満 500点以上	C	1800万点未満 600万点以上	C
500点未満	D	600万点未満	D

## (電気工事の発注標準金額)

等級	発注標準金額
A	5千5百万円以上
B	1千8百万円以上 5千5百万円未満
C	6百万円以上 1千8百万円未満
D	6百万円未満

### Q 最終等級・発注標準金額について

横内電気工業（株）の最終等級ならびに、  
発注標準金額はいくらになりますか？

A

横内電気工業（株）の客観等級は「B」で  
主観等級も「B」でした。

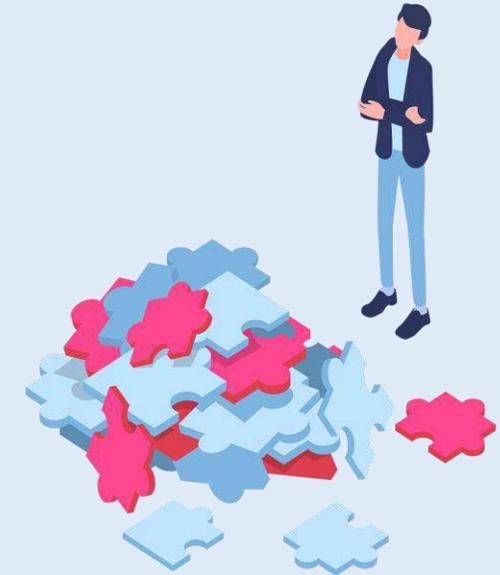
そのため、最終等級は「B」等級になり、  
発注標準金額は、  
「1千8百万円以上5千5百万円未満」と  
なります。

# 1 (8) シミュレーション

御社は東京都の「建築工事」の入札に参加したいと考えています。

事前に確認をしたところ、

- ・ 経営事項審査の点数は、649点
- ・ 過去最高完成工事歴は、税込み1億8千万円  
(3年前に株式会社Aから受注した都内工事)



御社の「等級」及び「発注標準金額」は、どうなるでしょうか？



実際にシミュレーション（予測）してみましょう！

# 1 (8) シミュレーション

## ① (建築工事の等級算定表)

客観点数	客観等級	主観点数	主観等級
900点以上	A	4.4億点以上	A
900点未満 750点以上	B	4.4億点未満 2.2億点以上	B
750点未満 650点以上	C	2.2億点未満 6000万点以上	C
650点未満 600点以上	D	6000万点未満 1600万点以上	D
600点未満	E	1600万点未満	E

② 客観等級が「D」で、主観等級が「C」  
最終的な等級は「D」。

③

等級	発注標準金額	
A	4億4千万円以上	
B	2億2千万円以上	4億4千万円未満
C	6千万円以上	2億2千万円未満
D	1千6百万円以上	6千万円未満
E	1千6百万円未満	

④ 最終等級が「D」なので、発注事例2の入札には参加できても、発注事例1の入札に参加することができません。

P点1点の違いで、かたや2億5千万円、かたや4千7百万円。

## ▶ 小さい工事を複数とっていききたい

メリット      ➡      それほど、強い競合がない

デメリット   ➡      技術者を配置できない

## ▶ 1件でいいので大きい工事を落札したい

メリット      ➡      労力を分散せずに狙っていける

デメリット   ➡      大手との戦いになる



**続いて、頭を切り替えて**

**東京都の入札参加資格を取得するまでの**

**手続きの流れについて、**

**見ていくことにしましょう。**



# 入札参加資格取得の手続き

事業年度終了

決算報告（決算変更届の提出）

経営状況分析

経営状況分析結果通知書（Y点）を受領

経営事項審査

経営事項審査の結果通知書（P点）を受領

入札用電子証明書の購入／PC環境の設定

東京都入札参加資格申請

承認：資格適用：名簿登載：入札参加

## 2 (1) 決算報告（決算変更届の提出）

**建設業許可業者は、事業年度終了後4か月以内に許可行政庁に決算報告（決算変更届の提出）を行わなければなりません。**



税理士がおこなう税務署への申告とは別物です。  
建設業法11条2項に規定されている建設業許可業者の義務

### 【提出書類】

- 建設業法用の財務諸表
- 工事経歴書
- 直前3年の各事業年度における業種ごとの施工金額
- 法人事業税納税証明書

**「ただの届出」と軽く考えてはいけません。すでに戦いは始まっている。**

**P点算出の基礎となる数字を含むため、  
経審を受ける会社にとっては、非常に大事！**

## 2 (2) 経営状況分析

経営事項審査を受けるには、民間の分析機関に経営状況分析申請を行い、経営状況分析の結果通知書（Y点）を取得しておかなければなりません。

- 【理由】
- ・ 経営事項審査の結果である総合評定値P点は、Y点も加味して行われる。
  - ・ 経営事項審査の際には、経営状況分析の結果通知書も提出しなければならない。

- ☑ どれだけ、借入があるか？ （負債抵抗力）
- ☑ どれだけ、効率良く売上ているか？ （収益性効率性）
- ☑ どれだけ、つぶれにくい会社か？ （財務健全性）
- ☑ どれだけ、利益があるか？ （絶対的力量）



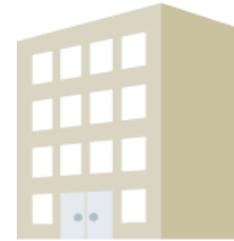
少しだけ、詳しく見ていくと…

## 2 (2) 経営状況分析

☑ どれだけ、効率良く売上ているか？（収益性効率性）



A社  
売上高：1億円  
総資産：1億円



B社  
売上高：1億円  
総資産：1千万円



どちらの方が、より経営状況分析の結果が良くなるか？  
Y点が高くなるのでしょうか？

総資産1億円のA社の方が、規模の大きい立派な会社に見える。  
しかし、A社は総資産1億円を1回転させて1億円を売り上げているのに対して、  
B社は総資産1千万円を10回転させて1億円を売り上げている。  
総資産を1回転しかできないA社と総資産を10回転もさせることができるB社とでは、  
B社の方が「効率がよい」といえるため、Y点が高くなる。  
同じ売上高なら総資産が小さい方が良い。

☑ **どれだけ、借入があるか？（負債抵抗力：負債回転期間）**



**月商の何か月分の借り入れがあるか？  
今ある借金を、何か月分の月商で返済できるか？**

**負債回転期間は、短い方がよい。**

**一番悪い数値は18か月。平均すると約6か月。**

**他社と比較して、借り入れの金額が多いのか？ 少ないのか？**

## 2 (2) 経営状況分析

☑ どれだけ、つぶれにくい会社か？（財務健全性：自己資本比率）

# A

$$\text{純資産合計} \div \text{総資産} = \text{自己資本比率}$$

貸借対照表  
BS (Balance sheet)

借方	貸方
資産	負債
	純資産

- 平均は30%台後半
- 40%を目指しましょう
- 資本金2,000万円以上
- 純資産4,000万円以上

純資産を増やすには、毎年利益を出す。過度な節税対策は禁物。  
総資産を減らすには、負債を減らすとともに、役員貸付金などの不明瞭な勘定科目にも注意をしましょう。

- ・ 許可行政庁 → 決算変更届の提出
- ・ 民間分析機関 → 経営状況分析の申請

## (3) 経営事項審査の申請へ



## 2 (3) 経営事項審査

経営事項審査とは、公共工事の入札参加資格を取得する会社は、必ず、受けなければならない手続き（建設業法27条の23）

経営事項審査の結果である総合評定値（P点）を客観点数として、客観等級を算出し、主観等級を加味して、最終的な等級の格付けが行われる。

はじめての方のための経営事項審査“入門書”

P.59 一部抜粋

…そういった事態を事前に防止するため、①公共工事の入札に参加する会社には経審を受けてもらい、②経審の結果である総合評定値P点で、会社ごとの等級や順位の格付けを行い、③公共工事の発注額に応じて、入札に参加できる会社をグループ分けしているのです。…

はじめての方のための  
経営事項審査  
“入門書”

経審の基本と6社の申請事例を  
わかりやすく解説

初心者、必見!

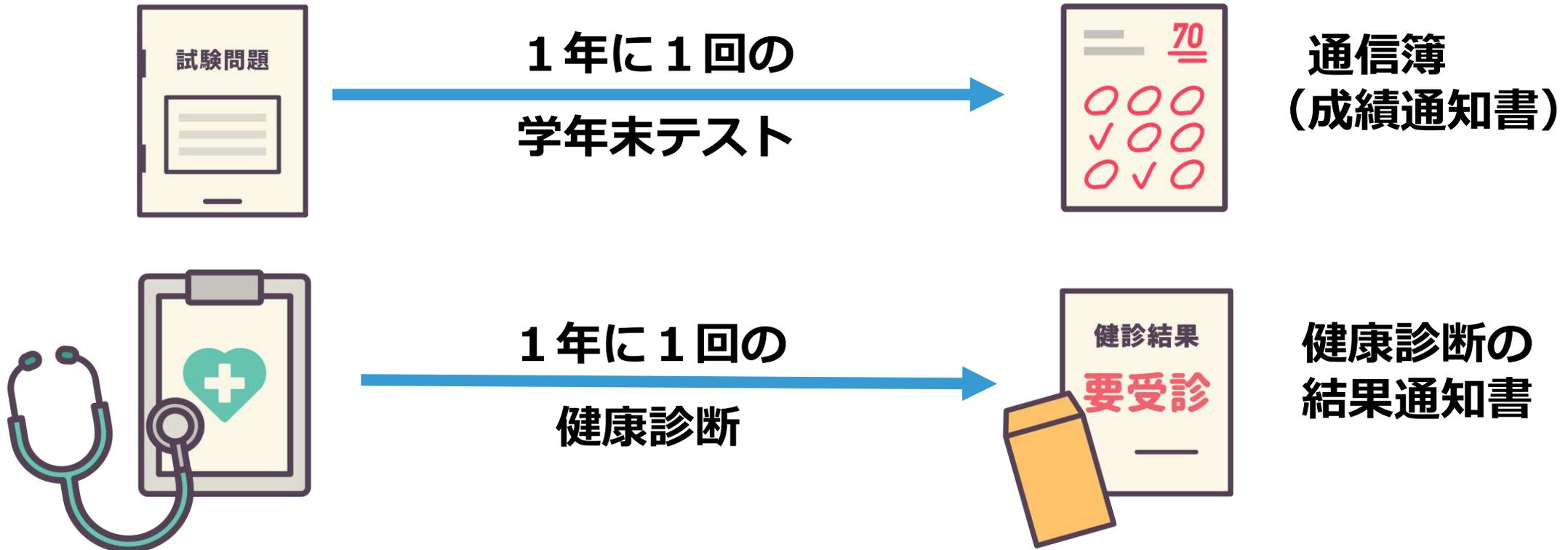
行政書士法人スマートサイドが書いた  
経営事項審査申請手続きの入門書

Parade Books

## 2 (3) 経営事項審査

こんなふうに例えることもできます。

### 経営事項審査の結果通知書（総合評定値通知書）



## 2 (3) 経営事項審査

審査項目	評点	区分
業種別の完成工事高	X 1	経営規模
自己資本額	X 2	
利払前税引前償却前利益の額		
業種別の技術職員数	Z	技術力
業種別の元請完成工事高		
建設工事の担い手の育成及び確保に関する取組状況	W	社会性
建設業の営業継続の状況		
防災活動への貢献の状況		
建設機械の保有状況		
負債抵抗力／収益性・効率性／財務健全性／絶対的力量	Y	経営状況

上記の審査項目から算出した X 1 ~ Y の評点に、以下の計算式をあてはめて、総合評定値 P 点を算出します。

$$P \text{ 点の算出方法} = 0.25 (X 1) + 0.15 (X 2) + 0.20 (Y) + 0.25 (Z) + 0.15 (W)$$

# 2 (3) 経営事項審査

許可区分	建設工事の種類	総合評定値 (P)	完成工事高		元請完成工事高及び技術職員数						評点 (Z)	自己資本額及び利益額		点数
			2年平均	評点 (X <sub>1</sub> )	元請完成工事高 2年平均	技術職員数	一級 (講習受講)	監理補佐	基幹	二級		その他	数値	
土木一式	プレストレストコンクリート構造物	749	200,000	790	50,000	2	1	0	0	0	5	716	9,592	574
大工	左官												2,000	562
とび・土工・コンクリート	法面処理													568
石	屋根													
電管	管													
タイル・れんが・ブロック	鋼構造物													
鋼橋上部	鉄筋													
舗装	しゅんせつ													
板金	ガラ													
塗装	防水													
内装仕上	機械器具設置													
熱絶縁	電気通信													
造園	さく井													
建具	水道施設													
消火施設	清掃施設													
解体	その他													
合計			200,000		50,000	0	0	1	0	0	1			

※技術職員数合計は、技術職員名簿に入力されている技術職員の実数を表示しています。

自己資本額及び利益額	数値	点数
自己資本額	9,592	574
利益額	2,000	562
評点 (X <sub>2</sub> )		568

その他の審査項目 (社会性等)	数値等	点数
雇用保険加入の有無	有	
健康保険加入の有無	有	
厚生年金保険加入の有無	有	
建設業退職金共済制度加入の有無	有	
退職一時金制度若しくは企業年金制度導入の有無	有	
法定外労働災害補償制度加入の有無	有	
若手技術職員の継続的な育成及び確保	非該当	
新規若年技術職員の育成及び確保	非該当	
C P D 単位取得数	0単位	
技術者数	2人	
技能レベル向上者数	0人	
技能者数	0人	
除対象者数	0人	
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の状況	非該当	
次世代育成支援対策推進法に基づく認定の状況	非該当	
青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定の状況	非該当	
建設工事に従事する者の就業環境を管理するために必要な措置の実施状況	非該当	
建設工事の担い手の育成及び確保に関する取組の状況		45
営業年数	6年	
民事再生法又は会社更生法の適用の有無	無	
建設業の営業継続の状況		2
防災協定の締結の有無	有	
防災活動への貢献の状況		20
営業停止処分の有無	無	
指示処分の有無	無	
法令遵守の状況		0
監査の受審状況	無	
公認会計士等の数	0	
二級登録経理試験合格者の数	0	
建設業の経理の状況		0
研究開発費	0	
研究開発の状況		0
建設機械の所有及びリース台数	0台	
建設機械の保有状況		0
エコアクション21の認証の有無	無	
ISO9001の登録の有無	無	
ISO14001の登録の有無	無	
国又は国際標準化機構が定めた規格による認証又は登録の状況		0
評点 (W)		636

※令和5年8月14日以降、W点の計算方法が変更になります。計算方法は審査基準日に応じて自動で切り替わります。

参考	単独決算	経営状況	単独決算	経営状況	単独決算	経営状況
総資本 (前期)	200,000	純支払利息比率	25,500	負債回転期間	0	総資本売上総利益率
		0.058		2.241		61.163
		自己資本対固定資産比率		自己資本比率		営業キャッシュフロー
		150.899		31.211		0.006
		売上高経常利益率		利益剰余金		0.119
		5.100				959
		評点 (Y)				10,171
						-3,081

【金額単位：千円】

## 2 (3) 経営事項審査

P点の算出方法 = 0.25 (X1) + 0.15 (X2) + 0.20 (Y) + 0.25 (Z) + 0.15 (W)

表記	審査項目
X1	完成工事高 (業種別)
X2	自己資本額 利払前税引前償却前利益の額
Z	技術職員数 (業種別) 元請完成工事高 (業種別)
W	建設工事の担い手の育成及び確保に関する取組状況 建設業の営業継続の状況 防災活動への貢献の状況 建設機械の保有状況
Y	負債抵抗力 収益性・効率性 財務健全性 絶対的力量

$$790 \text{点} \times 0.25 = 197.5$$

$$568 \text{点} \times 0.15 = 85.2$$

$$716 \text{点} \times 0.25 = 179.0$$

$$636 \text{点} \times 0.15 = 95.4$$

$$959 \text{点} \times 0.20 = 191.8$$

合計点数P点は、  
749点 (748.9点を四捨五入)

**審査項目ごとの点数は、  
テーブル表にあてはめて計算（参考資料5）**

## 2 (3) 経営事項審査



建築一式工事の平均売上高が2億円の場合のX1評点は？

(23)	6億円以上	8億円未満	$25 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 200,000 + 868$
(24)	5億円以上	6億円未満	$25 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 100,000 + 793$
(25)	4億円以上	5億円未満	$34 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 100,000 + 748$
(26)	3億円以上	4億円未満	$42 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 100,000 + 716$
(27)	2億5,000万円以上	3億円未満	$24 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 50,000 + 698$
(28)	2億円以上	2億5,000万円未満	$28 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 50,000 + 678$
(29)	1億5,000万円以上	2億円未満	$34 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 50,000 + 654$
(30)	1億2,000万円以上	1億5,000万円未満	$26 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 30,000 + 626$
(31)	1億円以上	1億2,000万円未満	$19 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 20,000 + 616$
(32)	8,000万円以上	1億円未満	$22 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 20,000 + 601$

## 2 (3) 経営事項審査

(28)	2億円以上	2億5,000万円未満	$28 \times (\text{年間平均完成工事高}) \div 50,000 + 678$
------	-------	-------------	--

計算式にあてはめると、X1評点は

$$28 \times 200,000 \text{ (千円)} \div 50,000 + 678 = 790 \text{ 点}$$

なお、売上高を2億円から倍の4億円にしたからと言って、  
X1評点も2倍になるわけではありません。

$$34 \times 400,000 \text{ (千円)} \div 100,000 + 748 = 884 \text{ 点}$$

**X1評点は、94点アップ<sup>o</sup> (884点-790点)**

**P点換算すると、24点アップ<sup>o</sup> (94×0.25)**

P点を24点アップさせるために、売上を2倍にする努力をすべきなのか？  
それとも、X1 (売上) 以外のX2、Z、W、Yの項目で、点数を上げるための工夫をすべきなのか？

### X1について、私の計算によると…

- ▶ 平均完成工事高：2億円 → P点：749点（客観C）
- ▶ 平均完成工事高：2億550万円 → P点：750点（客観B）

- ・ あの工事を値引きしなければ…
- ・ あと1つ現場を受注できていれば…
- ・ あと少しだけ早く完成することができていれば…
- ・ **3年平均を選択してれば…**

**最終等級が、Bになっていた可能性も・・・**

## 2 (3) 経営事項審査

X1（業種別完成工事高）は、2年平均か、3年平均か、を選択することができます。

■ 前々審査対象事業年度（第7期）	→	2億2000万円	} 2年平均 2億円	} 3年平均 2億666万円
■ 前審査対象事業年度（第8期）	→	2億1000万円		
■ 審査対象事業年度（第9期）	→	1億9000万円		

### ● 完成工事高2年平均を採用

$$(2億1000万円 + 1億9000万円) \div 2 = 2億円$$

### ● もし仮に、完成工事高3年平均を採用していたら…

$$(2億2000万円 + 2億1000万円 + 1億9000万円) \div 3 = 2億666万円$$



総合評定値P点は、750点。客観等級はB。最終等級もB。

### 【経営事項審査のP点アップのコツ】

#### (X1・X2)

- 完成工事高および元請完成工事高は、2年平均か3年平均を選ぶことが可
- 業種によっては、売上高を振り替えることが可
- 自己資本額（X2）は、基準決算か、2期平均を選択することが可

#### (Z)

- 資格を持っていなくても、実務経験の年数次第では、技術職員名簿に掲載可
- 技術職員名簿に掲載できるのは、入社後6か月を超える常勤職員のみ  
→技術職員を採用するタイミングは？ いつが良いですか？

#### (W)

- Wで審査項目の「建退協、退職金制度、法定外労災、防災協定」の加入は基準決算時点で判断  
→決算後の対策では間に合いません。

#### (そのほか)

- 財務諸表や工事経歴書は、税抜きで準備
- 工事経歴書に記載した工事（上位3件）の実績を契約書や注文書・請書で証明することが必要

## 2 (4) 東京都への入札参加資格申請

### 【入札参加資格申請の仕方】



「東京都電子調達システム」を  
利用した電子申請



入札用の電子証明書や I Cカードリーダー  
などの備品を購入することが必要



- ・ 購入した電子証明書や I Cカードリーダー  
を使えるようにする P C 設定
- ・ 東京都電子調達システムを利用  
できるようにする P C 設定



以上の手続きを経て、暗証番号を入力しログインできるようにならないと申請ができません！



### 【入力項目】

- 申請業種の選択
- 職員の人数
- 税金の支払いについて
- 業種ごとの年間平均完成工事高
- 業種ごとの年間平均元請完成工事高
- **過去最高完成工事経歴**  
など多岐にわたります。

#### ● **過去最高完成工事経歴**

- ・ 過去6年間
- ・ 東京都近郊で施工した工事
- ・ 一番金額が大きい
- ・ 工事請負金額（税込み）

等級を格付けする際の「主観点数」

（但し、民間発注工事の場合は、 $\times 1 / 2$ ）



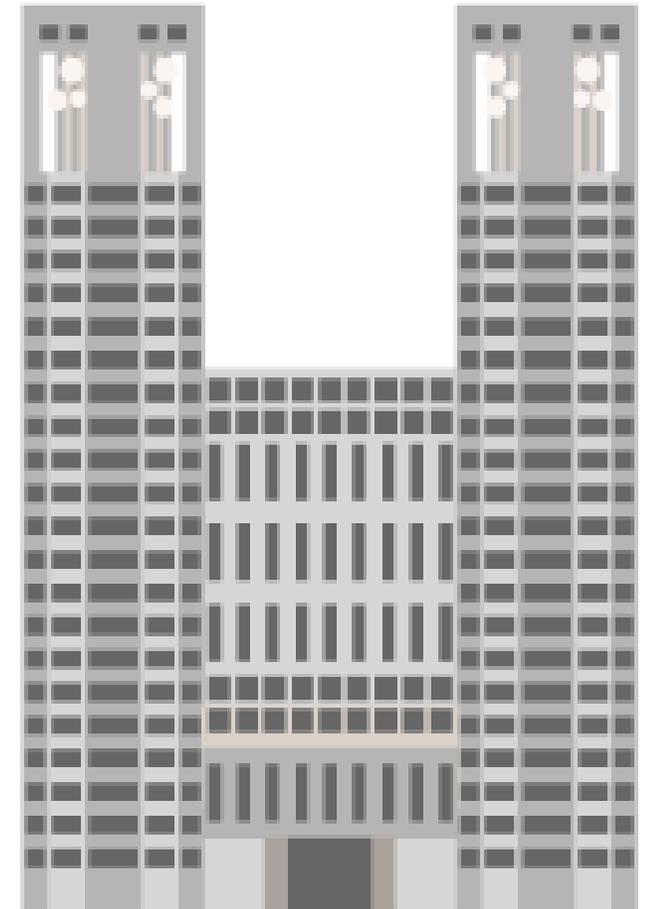
## 2 (6) 手続きのまとめ

- 3か月くらいは、かかることを想定してください。
- 決算報告、経営状況分析、経営事項審査は、毎年必要
- 東京都の入札資格は、2年度ごとに更新が必要
- 経審は書類の不備や記載ミスが命とりになる

### 東京都が発注する工事案件の中には

- ★東京都と契約する営業所が都内にあること
- ★営業所の専任技術者を配置技術者とすることは不可

といった条件が付されている案件がある場合も…



### 3 東京都入札の他社事例のご紹介



「仕組み」を理解するとともに、「手続き」を実践することによって、  
初めて効率的に公共工事を受注することができる！



東京都の入札の「仕組み」を理解して、「手続き」を実践することの  
重要性を改めて認識したケース

# 3 (1) 東京支店での入札事例

当初は、「埼玉本店」で東京都の入札資格を取得していたA社のケース

## 【案件の詳細】

- 東京都と契約する営業所が東京都内にあること
- 東京都内の営業所で入札参加資格を取得していること

東京支店で  
東京都の  
入札参加  
資格を取得

## 【入札参加・案件落札】

東京都が発注する  
食肉市場の冷凍冷蔵工事の  
案件落札に成功！

発注案件の詳細をまめに確認していたことが功を奏した事例！



なお、この会社は、もともと大臣許可業者であったが、もし埼玉県知事許可だった場合、大臣許可に切り替える必要があった。

## 3 (2) 完成工事高の振替事例

前任者が、完成工事高の振替制度があることを知らなかった？  
社長も、自社の等級をあまり意識していなかったB社のケース

### 【ご相談】

- 東京都の案件がなかなか落札できない
- 等級をあげるにはどうすればよいのか？

完成工事高の  
業種間振替で  
P点197点アップ  
(679→876点)

### 【結果】

#### 道路舗装工事

客観等級：C→B

最終等級：C→B

仕組みを理解して、手続き（申請）の仕方を工夫して成功した事例！

### 3 (3) 都か？区か？選択事例

まずは、規模の小さい工事や近場の工事がほしく、「東京都」ではなく、「区」の入札に参加したい社長のC社のケース

#### 【落札状況の調査】

- 「区」の電気工事の過去1年間の落札状況は「A」「B」の会社のみが落札
- 「C」「D」の会社の落札はゼロ

#### 【経審点数・等級のシミュレーション】

- ・ この会社の等級は、良くても「C」。おそらく「D」。

#### 【結果】

当初の予定を変更し「区」はやめて「都」の入札に絞って資格を取得

事前調査しておいて良かった事例！

# 4 東京都の入札に参加したいとお考えのかたへ

受注活動を効率良く行うには、「建設業許可／決算変更届／経営状況分析／経営事項審査／入札環境の事前準備／入札参加資格申請」のすべてを関連付けて考える必要があります。

- ☑ 建設業に関する手続きを専門にしていない?!
  - ☑ 建設業許可はできても経営事項審査ができない?!
  - ☑ 経営事項審査はできても入札参加資格申請ができない?!
- } あまりお勧めできません…

- ◆ どうやったら経営事項審査の結果（総合評定値P点）が上がるのか？
- ◆ 東京都の入札は、どういう仕組みで発注されているのか？
- ◆ ランクを上げるには、どうすれば良いか？
- ◆ どういった会社（同業他社）が、案件を落札しているのか？



こういったことを相談できる行政書士に、手続きを依頼することをお勧めします。

**1時間 11,000円 / 事前予約制の有料相談を実施中！**

- YouTube

<https://www.youtube.com/@smart-side>

- X (旧 : ツイッター)

[https://twitter.com/smartside\\_staff](https://twitter.com/smartside_staff)

- メルマガ

<https://smart-side-web.jp/mail-magazine/>

- 書籍

<https://www.amazon.co.jp/-/e/B0B48WTWS6>

- ホームページ

<https://www.shinjuku-kensetsu.jp/>

などを通じて、入札参加資格や、建設業許可について有益な情報提供を行っています。

東京都の公共工事の「仕組みを理解」し「手続きを実践」すれば、  
公共工事の落札も「夢」ではありません。

今日、このセミナーで学んだことを十分に生かして、  
ぜひ、東京都の公共工事にチャレンジしてみてください。

みなさまの今後の活躍を祈念して、  
本日のセミナーを終わりにしたいと思います。  
最後まで、ご清聴ありがとうございました。

